

遮熱塗料の販路拡大

松岡コンクリート、特約店を全国展開へ

エコ商品、市場拡大に対応

コンクリート二次製品製造の松岡コンクリート工業(大垣市神田町、松岡重吉社長)は、地球温暖化防止対策の遮熱塗料「ロードクーラー」の拡販に注力する。都道府県ごとに特約店3社を置くことを目標に販路を拡大し、2011年4月期に1・5倍の4億5千万円の売り上げを目指す。



松岡重吉社長

11年4月期
売上高

4億5000万円目指す

店を通じて販売、施工している。現在、特約店は24社あり、10年4月期は2億8千万円の売り上げを見込んでい

る。遮熱塗料市場は拡大傾向にあるといい、特約店を増やすことで販路を拡大し、需要の取り込みを進める。

ロードクーラーは名古屋工業大学の岩尾憲三教授と共同開発して製品化。十六銀行などが運営するベンチャー支援ネットワーク「N OBUNAGA21」のベンチャービジネス助成金制度で一昨年、最優秀賞にも選ばれた。

ロードクーラーは太陽光の反射率が高い特殊塗料を建物の屋根や外壁に塗り、その上に再帰反射する特殊なガラスビーズを吹き付けて施工する。蓄熱を抑えて建物の温度を下げるだけでなく、太陽光を注いだ方向に反射させるため、他メーカーの塗料に比べ、建物周囲の温度上昇も抑えられるという。

製造は塗料メーカー、ビーズメーカーにそれぞれ委託。自社の子会社と、全国の特約